

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2020 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題タイトル（注1）	No.	タイトル	自治体名
	-（事務局用）	新型コロナウイルス感染症に負けない、持続可能な社会の実現につながるアイデア	宇部市
チームがつけたアイデア名（注2）（公開）	宇部サイン		

（注1）地域課題タイトルは、COG2020 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題タイトルを記入してください。

（注2）アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

### 1. 応募者情報 赤字部分は削除して該当の番号を記入

チーム名（公開）	Web ビジネス組		
チーム属性（公開）	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	<b>3</b>	
メンバー数（公開）	6名		
代表者（公開）	松原舜		
メンバー（公開）	高村奈生人 中村拓海 笹元憲馬		

#### **【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。**

<応募の際のファイル名と送付先>

- 応募の際は、ファイル名を COG2020\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2020 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin\_cog2020@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

- アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
- 公開条件について：  
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY（表示）4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC（表示—非営利）4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。  
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
- 上記の公開は、内容を確認した上で行います。（例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません）
- この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アトバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

- 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
- 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。）

アイデアの説明全体が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認	<input type="radio"/>
---------------------------------	-----------------------

## 2. アイデアの説明（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

### (1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、これこれの課題解決のために、何をする社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたいなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなわくわく感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

**<応募チームとして解決したい課題の要点はこれ！をごく短く書いてください>**

宇部市の飲食店は、補助金があるにも関わらず、モバイルオーダーやタブレット注文などの導入が進んでいない。

なので、手軽でコストが少ない「ハンドサイン注文」を企画した。

「ハンドサイン注文」を先駆けにして、モバイルオーダーやタブレット注文を導入しやすい環境を構築できたらいいなと思った。

**<この課題解決のためのアイデアが具体的に実行される場面を想定してください。そこで…>**

**<「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いていきます>**

**<よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が必要です>**

【目的】

ポスターでハンドサインを用いた注文方法を紹介し、ハンドサインでの注文体験を通して、お客さん・店舗それぞれにモバイルオーダーのメリットを感じてもらう。その結果モバイルオーダーシステムの導入に踏み切る店舗が増えればコロナ対策につながる。

またアクションとしてのおもしろさが SNS 等で話題にもなるのではないかと考えている。

そのために…

我々「web ビジネス組」が作成するポスターテンプレートを宇部市の観光協会のホームページ（UBE NAVI）にて掲載していただきます。

お店さん側で印刷してもらい、絵を描く・写真を貼るなどしてもらってお店ごとのオリジナルのポスターを作成し、店頭に掲示してもらいます。

【ポスターの例】

テンプレート

記入例

## 2. アイデアの説明（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

おすすめの商品		おすすめの商品	
		オムライス を頼むときの ハンドサイン	松茸ごはん定食 を頼むときの ハンドサイン
		じゃがバター を頼むときの ハンドサイン	チキン南蛮 を頼むときの ハンドサイン

～注文手順～

1. 店員さんを呼ぶ  
お客様：店員さんに手のひらを見せる  
店員さん：お客様に手のひらを見せる
2. 注文をする準備をする  
お客様：ポスターにかかれたハンドサインで注文
3. 注文する  
お客様：店員さんにOKサインを出す  
店員さん：お客様にOKサインを出す
4. 注文を終了する

「ハンドサイン注文」を使おうと思った参考記事

「ちょっと驚く静かなスタバ 手話で伝えた「ありがとう」」朝日新聞 2020年11月13日

引用：<https://www.asahi.com/articles/ASNCF3GBBNBZUTIL02N.html>

【お店さんがやること】

Step1

宇部市のホームページからダウンロードしてもらう

Step2

ダウンロードしたテンプレートを印刷

Step3

印刷したテンプレートに絵やコメントを書きこんでいく。

Step4

ポスターを店頭に貼り、これを見たお客様はハンドサインで注文をすることが出来る。

結果

ハンドサインで注文をすることで、対面でのコミュニケーションを減らせる。

さらに・・・

特別なハンドサイン（少し面白いサイン）を見た人が SNS などで拡散することで更に認知の向上が図れ、集客率が上がることが期待できます。

またリピーターを増やす集客方法として、

常連のお客さんには、お店によって特別なハンドサインを覚えてもらえ、そのハンドサインをすることで特別なサービス（割引や裏メニューなど）が受けられるようにする。

【将来的には】

宇部市のホームページでポスターをダウンロードして下さったお店さんを集めて、交流会をする。

交流会をすることで、ポスターの「不便に思う事」が出てくると思います。

## 2. アイデアの説明（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

そこで、モバイルオーダーやタブレットでの注文方法が取れることを宇部市から提案していただく。  
こうすることで、少しずつモバイルオーダーやタブレットの注文方法をとるお店さんが増えると考えた。

### (2) アイデアの理由（公開）

**このアイデアを提案する理由**について、それを**サポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明**してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

## 2. アイデアの説明（公開）

## (2) アイデアの理由（公開）

<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するというアイデアの内容を支えるための、「なぜ」これやりたいのかの思いを上記のデータを示しつつ書いていきます>

### 【現状】

新型コロナウイルスの影響でマスク着用して、入店することを推進する飲食店が増えた。  
なので、会話などでの接客を減らす手段として「ハンドサイン」を用いた注文方法を思いついた。

### 【主な感染経緯図】



出典：[https://sp-jp.fujifilm.com/hydroag/column/020\\_sessyokukansen.html](https://sp-jp.fujifilm.com/hydroag/column/020_sessyokukansen.html)  
コロナに限らず、病原菌は数々の感染経路で感染します。

### 【データ】

日本のコンピュータで飲食店のテーブルで会話すると、どのくらい飛沫するのか計算したところ・・・  
計算したところ、飲食店で会話する際、話す人の口からでた飛沫の全体数の5%程度が、届く計算に  
隣の人には、ほとんど飛ばないもの、向かいあって会話をする場合は、5倍程度の飛沫が飛んでいるとことが分かった。

引用：

<https://isogocl.com/column/%E6%96%B0%E5%9E%8B%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A%E3%82%A6%E3%82%A4%E3%83%AB%E3%82%B9%E3%81%AE%E9%9B%BB%E8%BB%8A%E3%82%84%E9%A3%B2%E9%A3%9F%E5%BA%97%E3%81%A7%E3%81%AE%E6%84%9F%E6%9F%93%E7%A2%BA%E7%8E%87>

## (3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、2 ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

<アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきまづ>

#### 【アイデアの流れ】

ハンドサインのルールとテンプレートポスターを我々「webビジネス組」で作成します。

宇部市のHPもしくはUBE-NAVIにテンプレートポスターをHPで掲載していただき、ダウンロード可能にして頂きできるなら、DLしたお店さんにネットアンケートを使いどのお店さんがDLしたか確認できるようにしたい。

#### 【アンケート内容】

- お店の名前
- 用途

お店さんがお金を掛けずに作ることができる。

将来的に、非接触オーダーの便利さに気づいてより本格的なシステムを導入したいと希望をするお店には宇部市がサポートをする。（例：補助金、説明会）

#### 【アイデア実現までの流れ】

4月までにテンプレートポスターを完成。



5月に宇部市HPまたはUBE-NAVI掲載ページ公開する。



お店側でテンプレートポスターをダウンロードして、自分のお店用のポスターにもらう。



お店独自のハンドサイン、サービス（裏メニュー、クーポン）を加えることで集客率を上げる。



半年～1年経過後、宇部市から、ダウンロードした方々を集め交流会を開き、意見交換と非接触オーダーでの補助金などの話で、非接触オーダーを加入しやすい環境を構築していく。

#### 【今後のスケジュール】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
テンプレートダウンロード	■											
商品4品を決める		■										
特典がもらえるハンドサインを決める			■									
チラシやSNSなどで取り組みを広める			■									
宇部サイン実装			■									
改善点・反省							■					■

秋のアイデア考案段階における課題提示自治体との連携状況について、以下の質問にお答えください。